

平成 29 年 10 月 20 日 「新潟市民芸術文化会館 リューとぴあ」
において、第 54 回全国港湾労働災害防止大会が 10 年ぶりに県内で
開催されました。

大会では、厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 田中部長より来賓
挨拶をいただき、また、別紙の通り大会宣言がなされました。



厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 田中部長より来賓挨拶

大会宣言

港灣貨物運送事業の労働災害は、会員はじめ関係各位のたゆまぬご努力の結果、大幅な減少を達成し、休業災害については、二年連続して過去最少を更新した。

しかしながら、港灣の現場では、荷役機械の大型化と作業のスピード化が進む中で、荷役機械との接触災害や墜落・転落災害など、重篤な災害が発生するおそれは依然として小さくない。

また、今日、働き方改革に取り組み、労働者の心と体の健康を確保することが重要な課題となっている。

こうした状況の中で、これまでに培われてきた安全を第一とする伝統を着実に伝承し、災害防止規程の順守の徹底、リスク低減対策の推進、作業者の安全意識の向上、現場の創意工夫を生かした「安全の見える化」などの対策を、一層推進する必要がある。

このため、新潟市で開催した第五十四回全国大会において、会員が一丸となり、経営トップが先頭に立って、これらの対策を強力に推進し、「誰もが安心して健康に働くことができる港を実現する」決意をここに表明する。

右宣言する。

平成二十九年十月二十日